

第 11 回佐久新校再編実施計画懇話会

日時：令和 4 年 7 月 25 日（月）

18 時～19 時 30 分

会場：長野県佐久合同庁舎 講堂

<次 第>

1 開 会

2 挨 拶

3 会議事項

(1) 第 10 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめについて

(2) 新校の学びのイメージについて

(3) 佐久新校の校地選定について

4 その他

(1) NSD プロジェクト キックオフシンポジウムについて

(2) 第 12 回佐久新校再編実施計画懇話会について

【日時】 令和 4 年 8 月 25 日（木）18 時～19 時 30 分

【会場】 長野県佐久合同庁舎 講堂

5 閉 会

<https://www.youtube.com/watch?v=lp2BZ6qs96I>



佐久新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

○ = 新構成員

区分	氏名	所属等
自治体	花里 英一	佐久市 副市長
	吉岡 道明	佐久市教育委員会 教育長
	茅根 健司	南佐久郡町村教育委員会連絡協議会 会長
産業界	相馬 栄治郎	佐久商工会議所 副会頭
	渡辺 仁	佐久総合病院 統括院長
	白鳥 敬日瑚	マイクロストーン株式会社 代表取締役社長
学識経験者	堀内 ふき	佐久大学 学長
地域	廣末 恵子	社会医療法人恵仁会 医師
	高橋 功	佐久地域振興局 局長
同窓会	吉岡 徹	野沢北高等学校同窓会 会長
	中島 瑞枝	野沢南高等学校同窓会 会長
PTA	木内 良夫	野沢北高等学校PTA 会長
	神津 かずみ	野沢南高等学校PTA 会長
	○竹内 由貴	全佐久PTA連合会 副会長
学校関係者	鹿取 俊彦	佐久中学校長会 会長
	森泉 雄二	佐久小学校長会 会長
再編対象校	中嶋 俊太郎	野沢北高等学校 生徒会長
	小林 滝	野沢北高等学校 生徒会副会長
	小山 莉歩	野沢北高等学校 生徒会副会長
	渡邊 陽樹	野沢南高等学校 生徒会長
	横川 響菜	野沢南高等学校 生徒会副会長
	小林 笑奈	野沢南高等学校 生徒会副会長
	柳沢 敬	野沢北高等学校 校長
	山下 純一	野沢北高等学校 教諭
	井出 豊彦	野沢南高等学校 校長
	木下 照美	野沢南高等学校 教諭

事務局

野沢北高等学校		野沢南高等学校		高校再編推進室	
石川 順三	(教頭)・事務局長	橋爪 俊彦	(教頭)・副事務局長	山岸 明	主幹指導主事
山下 純一		児平 修一		柳沢 勝美	主任指導主事 (佐久新校担当)
白石 克典		宮内 孝明			
神岡寿賀子		木下 照美			
清水 貴弘		山口 達之			

第 10 回 佐久新校再編実施計画懇話会まとめ

日時	令和 4 年（2022 年）6 月 2 日（木） 18 時 00 分～19 時 30 分
場所	長野県佐久合同庁舎 講堂
出席 （敬称略）	吉岡道明，茅根健司，相馬栄治郎，渡辺 仁，白鳥敬日瑚，廣末恵子，高橋 功，吉岡 徹， 中島瑞枝，木内良夫，神津かずみ，鹿取俊彦，森泉雄二，柳沢敬，山下純一，井出豊彦，木下照美， 中島俊太郎，横川響菜，小須田理代（以上 21 名）
傍聴者	18 名（報道 2 社 3 人）
事務局	野 沢 北 高 校：石川 教諭（事務局長），白石教諭，神岡教諭 野 沢 南 高 校：橋爪 教頭（副事務局長），児平 教諭 県教育委員会：宮澤室長，堀田企画幹，山岸主幹指導主事，石井主事，塩川施設係主任、斉藤施設 係主事，柳沢主任指導主事
当日資料	○次第，第 9 回懇話会まとめ，佐久新校の校地選定について,NSD キックオフシンポジウム

会議事項

- (1) 第 9 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) 佐久新校の校地選定について

主な内容(要旨) ⇒県教委回答 →構成員回答

<佐久新校の校地選定について>

県教委から、校地選定の経緯について、茨城牧場長野支場及び（独）家畜改良センターからの回答を示すとともに、庁内での検討経緯と県教委の最終的な判断を以下のとおり説明。

以下の 4 点の理由により、「県有地を校地とすること」が現実的に困難であると判断した。

- (1) 県有地の一部返還が実現するかは不透明であり、仮に実現した場合でも長期間を要すること。
- (2) 県有地の一部返還がされた場合、センターの事業に著しい支障が生じるとともに、家畜農家の営農にも影響を与える可能性があること。
- (3) 賃貸借契約の解除等を行う場合には、原則として農地法による知事の許可が必要となるが、許可基準の何れにも該当しないため。不許可となる可能性が高いこと。
- (4) 土地造成費など、新たな財政負担が生じること。

○今まで校地について検討内容が非公開であったため、校内では噂話や憶測でしか話がされていない。両校の先生方からも意見を聞いていただきたい。

○中学生やその保護者の中には、野沢北と野沢南がすぐに再編されると錯覚している人もいる。中学生が安心して進路選択できるように、中学校でも指導していただきたい。

→校長会や進路指導委員会において伝えていく。

○100 年後に誇れる学校のために、県有地と現行地を並行して検討できないか。

⇒今後の少子化の進行等を踏まえると、スピード感をもった検討が必要である。校地を決定しなければ再編実施基本計画を策定できないため、これ以上並行しての検討は現実的ではない。

○どちらか一方ということだけでなく、駅前にビルを建て、両校も利用する分散型のキャンパス等も考えられるのでは。

⇒1 つの校舎で活力を持って子どもたちが学べる学校を佐久の地に造りたいと考えている。

○中学校卒業生数の推移やこの計画のメリット、新しいコンセプト等を考えると、なるべく早い判断が必要だと思う。

○現行地を使用する場合、周辺環境が重要。

○どちらかが吸収されたようにならないように、両校の伝統を引き継いでほしい。

<その他>

○野沢南高校の定時制はどうなるのか。

⇒5 月に公表した再編・整備計画【三次】(案)において、佐久新校に引き継ぐ計画を示した。必要があれば改めて説明する。

次回の予定

日 時：(調整中)

場 所：(調整中)

会議内容：(調整中)

佐久新校のイメージについてご意見をください。

1. 学校像・生徒像について

「新しい時代を地域と共に創る佐久の学びの拠点校」

探究心を未来の好奇心へ

- 高い志の進路を実現し、未来社会の核として地域・日本・世界で活躍する人を育む
- 知的創造力・知的活用力を磨き、自己の可能性を追求する
- 深い学びで真理を追究し、コミュニケーション能力や表現力・発信力・創造力を育む

- 主体性を持ち、失敗を恐れず、チャレンジ精神旺盛な生徒を育む
- 新しい時代を切り拓いていく気概を持つ生徒を育む
- 自分の考えを持ち、表現し、発信できる生徒を育む
- 多様性を尊重し、他者と協働し、新たな社会を共創する生徒を育む

2. 学び・カリキュラムについて

探究的手法を学びの核とした、主体的、対話的な教育活動

高い志を実現する確かな学力をつけ、主体的な科目選択で自分の学びをデザイン

「もっと知りたい・学びたい」気持ちを大切に、学びを発展させるカリキュラム

学校の枠にとらわれず学外と協働した先駆的な学び

○普通科

幅広い選択群から自らの興味・関心に応じて主体的な科目選択をし、進路実現を目指す
よりよき社会を共に創ろうとする資質・能力を育成し、4年制大学への進学を目指す

○理数人文科学科（仮称）（1年次共通履修）

理数科を発展させた学科で、2年次からコース制を導入し、難関大学進学をめざす
理数的なものを含めて将来の課題解決に必要な資質・能力を育成する

・理数科学コース（仮称）

自然科学を深く学び、地域的課題、地球規模の課題を考え、主に理科系進路に対応する

・人文科学コース（仮称）

国際理解と地域課題解決をキーワードに、様々な社会現象・国際情勢などを考え、
主に文科系進路に対応する

高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 再編・整備計画【概要】

R4.7.1現在
高校再編推進室

1 決定した計画

再編・整備計画	旧通学区	統合前	統合後	議会同意
【一次】 (R2.9) 決定	6通	小諸商業高校(商業科) 小諸高校(普通科、音楽科)	小諸新校(普通科、商業科、音楽科)	○ R4.3.16
		野沢北高校(普通科、理数科) 野沢南高校(普通科)	佐久新校	
	8通	伊那北高校(普通科、理数科) 伊那弥生ヶ丘高校(普通科)	伊那新校(普通科、特色学科)	○ R4.3.16
【二次】 (R3.9) 決定	2通	中野立志館高校(総合学科) 中野西高校(普通科)	中野総合学科新校	
		須坂東高校(普通科) 須坂創成高校(農業科、工業科、商業科)	須坂新校	
	8通	辰野高校(普通科、商業科) 箕輪進修高校(普通科、工業科)	上伊那総合技術新校	
		上伊那農業高校(農業科) 駒ヶ根工業高校(工業科) 赤穂高校(普通科、商業科)	辰野高校(普通科) 箕輪進修高校(普通科) 赤穂総合学科新校(総合学科)	

2 案として公表した計画

【三次】 (案) (R4.5) 公表	3通	長野東高校(全日制) 長野吉田高校戸隠分校(定時制) 長野高校(定時制) 長野商業高校(定時制) 長野西高校(通信制)	長野東スーパーフレックス新校	
	4通	更級農業高校(農業科) 松代高校(普通科、商業科) 屋代南高校(普通科、家庭科)	長野千曲総合技術新校 松代高校(普通科)	
	7通	岡谷東高校(普通科) 岡谷南高校(普通科)	岡谷新校	
		岡谷工業高校(工業科) 諏訪実業高校(商業科、家庭科)	岡谷諏訪総合技術新校	
		茅野高校(普通科) 富士見高校(普通科、農業科)	茅野富士見新校	
	11 ・ 12 通	塩尻志学館高校(総合学科) 田川高校(普通科)	塩尻総合学科新校	
		南安曇農業高校(農業科)旧11通学区 穂高商業高校(商業科) 旧11通学区 池田工業高校(工業科) 旧12通学区	安曇野総合技術新校	
定通	<ul style="list-style-type: none"> ○長野工業高校定時制工業科を普通科に転換 ○上田千曲高校定時制工業科を普通科に転換 ○東御清翔高校に夜間部を設置し、上田高校定時制を東御清翔高校に集約 ○小諸商業高校定時制は、佐久新校定時制に集約 			

校地の検討

その他事項

第10回 校地検討部会・懇話会(R4.6.2)

県有地について、「現実的に困難である」と判断した経緯と理由を説明
→意見交換

懇話会

第11回 校地検討部会・懇話会(R4.7.25)

校地部会・・・校地選定に係る意見交換

懇話会・・・「主な視点」を示し、小諸・伊那の経緯を説明
→意見交換

設置課程・学科
学びのイメージ
報告・意見交換

→出された意見を県教委が整理し、次回「視点と項目」を提案

第12回 校地検討部会・懇話会(8月25日)

「佐久新校の校地選定の視点と項目」を提案
意見交換→次回、この視点を基に検討した結果を報告

募集開始年度
募集学級数
報告・意見交換

第13回 校地検討部会・懇話会(11月～12月)

校地(案)の報告 → 意見交換

まとめ

佐久新校(仮称)再編実施基本計画

- 1 再編統合対象校・・・野沢北高等学校、野沢南高等学校
- 2 募集開始(開校)年度・・・令和○年度
- 3 活用する校地・校舎・・・○○高等学校
- 4 設置課程・学科及び開校時に想定する募集学級数・・・全日制課程 普通科○学級、○○科○学級
定時制課程 普通科○学級
- 5 統合新校の学びのイメージ・・・別紙のとおり(佐久新校の学校像)
- 6 統合新校の施設設備について・・・新校の学びに必要な施設設備及び、高校施設の著しい老朽化と社会や学びの変化に対応し質的向上を図っていく。

募集開始(開校)年度と募集学級数については県教委が提案

12月22日
教育委員との
意見交換

1月16日
教育委員会定例会
で決定

2月県議会
(3月○日)
同意

小諸新校(仮称)の校地検討について

懇話会

「駅に近い交通アクセスに優れた校地」の要望

②

小諸商業の校地活用を要望



校地検討部会

- 小諸商業を中心に活用
- 小諸商業の校地・校舎の課題
- 小諸の音楽科施設の課題
- 小諸の跡地利用
- 新たな校地の検討

県教育委員会

- 利便性・安全性
 - 「多極ネットワーク型コンパクトシティ」
構想と連動した新たな高校づくり
- **小諸商業高校の校地活用を決定**



1

伊那新校(仮称)の校地検討について

視点1…校地・校舎に係る環境(位置・校舎に関すること)

- ①敷地(校地)の広さ ②学校へのアクセス ③近隣住民への影響
- ④部活動の活動場所の確保 ⑤駐車場施設の確保

視点2…通学環境(距離・方法・生徒の通学方法)

- ⑥駅からの距離 ⑦通学時の安全性

視点3…学習活動を支える教育環境(主な公共施設までの距離)

- ⑧他の学校との交流の利便性 ⑨地域との交流の利便性
- ⑩周辺の学習環境(自学・自習スペース)
- ⑪隣接施設(公共施設等)の有用性

3視点

⑪項目

を基に

県が
決定

2

校地検討の主な視点

高校再編推進室

1 校地・校舎に係る環境（位置・校舎に関すること）

- ・景観が良好で、安全が確保され、健康で文化的である等の周辺環境を考慮する。
- ・生徒がゆとりをもって学校生活を送ることのできる学習環境を考慮する。

- (1) 現所在地（安全・環境・用途利用）
- (2) 校舎及び屋内運動施設環境（敷地面積・現校舎及び体育館等の築年数）

2 通学環境（距離・方法・生徒の通学範囲に関すること）

- ・生徒の通学範囲、通学距離、通学方法等の通学利便性を考慮する。

- (1) 現所在地の通学環境（現状の最寄り駅及び通学方法）
- (2) 主な接道の状況、除雪路線指定の有無 等

3 学習活動を支える教育環境（主な公共施設までの距離に関すること）

- ・社会教育施設や体育施設等、生徒が利用できる施設との距離を考慮する。
- ・高校生の主体的なキャリア教育を支援する施設との距離を考慮する。
- ・生徒が学びを深める活動の場として、利用できる施設との距離を考慮する。

- (1) 教育機関（幼保・小・中・高・大等）
- (2) 文化施設関係（運動公園・体育館・市民文化会館・図書館等）
- (3) 医療機関（総合病院・保健センター等）
- (4) 福祉関係（老人ホーム・福祉施設等）
- (5) 地域協働関係（企業・商業施設等）

4 自治体の街づくりとの関連（街づくりに関すること）

- ・街づくりとの関連を考慮する。

- (1) 街づくり計画との関連
- (2) その他

「主な視点」に基づくご意見について R4. 7. 25 現在

1 校舎・校地に係る環境（位置・校舎に関すること）

今までに出されたご意見

- ・学習空間デザインに基づく新校舎の建築（地域連携協働室や発表空間など柔軟に使える教室）
- ・定時制棟が必要
- ・新たな学びを推進するための施設を実現させるための校地の広さ
- ・広い体育館とトレーニングルーム
- ・ハザードマップ上、安全な場所が大前提
- ・騒音や日照権等で苦情がない場所
- ・大型バスや訪問者が出入りしやすい場所が良い

2 通学に係る環境（距離、方法、生徒の通学範囲に関すること）

今までに出されたご意見

- ・歩道や自転車道が完備されている場所
- ・遠方からも通学しやすい駅に近い場所
- ・広域から生徒を集めることを考えると交通アクセスのよい場所が良い
- ・送迎する保護者のことを考えると、周辺道路の道幅も重要
- ・小諸や佐久平駅からの通学バスが必要

3 学習活動を支える教育環境（主な公共施設までの距離に関すること）

今までに出されたご意見

- ・ 幼保小中高大と連携した学びの実践
- ・ 地元企業と連携した学びの実践
- ・ 佐久陸上競技場や武道館などの施設も活用できる環境
- ・ 近隣施設を活用した校外活動ができる学校

4 自治体の街づくりとの関連（街づくりに関すること）

今までに出されたご意見

5 その他（上記4つの視点には当てはまらないもの）

グループ No.	メンバー指名

佐久新校の校地現況

校地検討の視点・・・共通の視点を持ち、意見交換を行う。

- (1) 校地・校舎に係る環境（位置・校舎に関すること）
- (2) 通学環境（距離・安全・環境・用途利用に関すること）
- (3) 学習活動を支える教育環境（主な公共施設までの距離に関すること）
- (4) 街づくりとの関連（街づくりに関すること）

1 校地・校舎及び周辺環境

景観等が良好で、安全が確保され、健康的で文化的な環境であることが望ましい。

位置に関すること	野沢北高校	野沢南高校
(1) 所在地	佐久市野沢 449-2	佐久市原 86-1

土地に関すること	野沢北高校	野沢南高校
(1) 敷地面積	土地面積 33,639㎡	土地面積 34,636.6㎡
	建物建築面積 6,699㎡	建物建築面積 6,071.9㎡
	建物延面積 11,194㎡	建物延面積 10,506.3㎡
	第2グラウンド・その他 15,206㎡	第2グラウンド・その他 10,716.0㎡

施設に関すること	野沢北高校	野沢南高校
(1) 教室数	21教室	15教室
(2) 体育館数	大体育館 1棟・小体育館1棟 格技室 1棟	大体育館 1棟・小体育館 1棟 格技室 1棟

建設年に関すること	野沢北高校	野沢南高校
(1) 管理普通教室棟	昭和39年	昭和46年
(2) 混合教室棟	昭和38年	昭和47年
(3) 特別教室棟	昭和63年	昭和49年
(4) 大体育館	昭和58年	昭和47年
(5) 小体育館・格技室	昭和40年・昭和53年	昭和47年・昭和54年

2 通学環境

生徒の通学範囲、通学距離、通学方法、その他の事情を考慮することが望ましい。

通学に関すること	野沢北高校	野沢南高校
(1) 最寄り駅	中込駅 2.0 km 徒歩 25分	中込駅 1.7 km 徒歩 21分
(2) 生徒の通学方法	小海線 249人 (41.0%) (しなの鉄道等併用 80人)	小海線 203人 (34.1%) (含しなの鉄道等併用)
	〔小諸方面 197人 野辺山方面 52人〕	〔小諸方面 121人 野辺山方面 82人〕
	小海線(含しな鉄) 249人(34.5%)	小海線(含しな鉄) 203人(34.1%)
	バス 9人(1.5%)	バス 24人(4.0%)
	自転車 311人(51.2%)	自転車 273人(45.9%)
	徒歩 31人(5.1%)	徒歩 114人(19.2%)
	その他 47人(7.7%)	その他 28人(4.7%)

(3) 通学時間別生徒数 ・0～20分 ・21～40分 ・41～60分 ・61分～	交通機関	自転車	徒歩	交通機関	自転車	徒歩
	16人	124人	23人	25人	66人	58人
	55人	167人	5人	83人	167人	38人
	96人	19人	3人	35人	40人	17人
	52人	1人	—	37人	—	1人
(4) 主な接道の状況	145号線			144号線		

(R2 学校要覧による)

3 学習活動を支える教育環境

社会教育施設や体育施設等、高校生が利用できる施設や高校生の主体的なキャリアの形成を支援するための施設・連携校となり得る可能性がある教育機関がなるべく近くにあることが望ましい。

主な公共施設までの距離	野沢北高校		野沢南高校	
(1) 総合病院	佐久医療センター	3.8 km	佐久医療センター	4.5 km
	佐久総合病院	4.3 km	佐久総合病院	3.1 km
	くろさわ病院	2.0 km	くろさわ病院	1.8 km
	浅間総合病院	5.9 km	浅間総合病院	6.6 km
(2) 文化会館	近代美術館	5.0 km	近代美術館	5.2 km
	佐久平交流センター	6.5 km	佐久平交流センター	7.6 km
	市民創錬センター	5.3 km	市民創錬センター	5.2 km
	野沢会館	1.4 km	野沢会館	0.7 km
(3) 運動公園	佐久市総合体育館	4.2 km	佐久市総合体育館	4.4 km
	県立武道館	5.4 km	県立武道館	5.6 km
	総合運動公園	3.8 km	総合運動公園	4.2 km
	駒場公園 (テニスコート、プールなど)	5.0 km	駒場公園 (テニスコート、プールなど)	5.2 km
(4) 図書館	佐久中央図書館	5.0 km	佐久中央図書館	5.2 km
(5) その他	佐久合同庁舎	0.8 km	佐久合同庁舎	1.9 km
	佐久市保健センター	3.9 km	佐久市保健センター	4.2 km

教育連携が可能な機関	野沢北高校		野沢南高校	
(1) 近隣幼稚園 保育園	カトリック幼稚園	1.3 km	カトリック幼稚園	1.0 km
	佐久市泉保育園	1.3 km	野沢保育園	0.2 km
(2) 近隣小学校	泉小学校	1.1 km	野沢小学校	0.4 km
(3) 近隣中学校	野沢中学校	0.1 km	野沢中学校	1.6 km
(4) 近隣高校	佐久平総合技術高校		佐久平総合技術高校	
	臼田キャンパス	3.2 km	臼田キャンパス	2.0 km
	浅間キャンパス	7.4 km	浅間キャンパス	8.2 km
	岩村田高校	6.1 km	岩村田高校	6.9 km
(5) 近隣大学	佐久大学	5.7 km	佐久大学	6.7 km
(6) 近隣福祉施設	ケイジンピアホーム中込	2.0 km	ケイジンピアホーム中込	1.5 km
	佐久の泉共同作業センター	1.4 km	佐久の泉共同作業センター	0.7 km
(7) 佐久市文化施設	こども未来館	6.6 km	こども未来館	6.6 km
(8) その他				